介護予防・日常生活支援総合事業におけるアンケート調査票

貴事業所の業務形態に応じて以下の番号に従って回答してください。

地域包括支援センター　　Ⅰ・Ⅱ・Ⅵ

居宅介護支援事業所　　　Ⅰ・Ⅱ・Ⅵ

訪問介護事業所　　　　　Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ

通所介護事業所　　　　　Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ

**Ⅰ　基本情報**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 法人名 |  | | |
| 事業所名 |  | | |
| 回答者 | 氏名　　　　　　　　　　　　職名等 | | |
| 電話番号 |  | FAX |  |
| Email |  | | |

※アンケートの調査結果は、集計の上、公表する予定としておりますが、上記基本情報は、総合事業の評価やサービス内容の検討以外には使用・公表はいたしません。

**Ⅱ　新総合事業の評価等について**

問１　総合事業移行前（H２８年度）と比べて良くなった点はありますか。

１　ある　　　２　ない　　　３　わからない

具体的内容をお書きください

問２　総合事業移行前（H２８年度）と比べて悪くなった点はありますか。

１　ある　　　２　ない　　　３　わからない

具体的内容をお書きください

問３　市の集計では、総合事業移行前（H２８年度）と比べて、要支援者数（要支援１・２、事業対象者）は１７％増加していますが、実際に利用者数が増えたと感じますか。

１　増えた　　　２　変わらない　　　３　減った　　　４　わからない

問４　地域に不足しているまたは必要であると思う総合事業サービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１　訪問型サービスＡ（緩和した基準によるサービス）生活援助に特化したもの等

２　訪問型サービスＢ（住民主体による支援）多様な主体による生活支援等

３　訪問型サービスＣ（短期集中予防サービス）保健師等による居宅での相談指導等

４　訪問型サービスＤ（移動支援）

５　通所型サービスＡ（緩和した基準によるサービス）ミニデイサービス、運動・レクリエーション等

６　通所型サービスＢ（住民主体による支援）介護予防活動など、自主的な通いの場

７　特になし

問５　地域に不足しているまたはあると良いと思うインフォーマルサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１　見守り支援　　　2　安否確認　　　３　居場所・サロンなどの集いの場

４　家事援助　　　５　ゴミだしサービス　　　６　訪問理・美容サービス

７　体操・運動教室　　　８　除雪・除草　　　９　外出・移動支援

１０　その他（　　　　　　　　 　　　　　　　　 ）

１１　特になし

問６　実際に高齢者向けのボランティアや地域の支え合いなど実践されている個人・団体等、知っている情報があればお書きください。

具体的な活動内容等をお書きください。

**Ⅲ　訪問型サービスについて（訪問介護事業所のみ回答）**

問１　貴事業所の１日の利用定員は何人ですか。　　　　定員　　　　　人

問２　１日の利用者数は平均何人くらいですか。　　　　１日　　　　　人

問３　現在、事業対象者、要支援１・２の利用者数はどれ位ですか。

　　・事業対象者　　　　　人　　・要支援１　　　　　人　　・要支援２　　　　　人

問４　**事業対象者**のうち、身体介護が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問５　**要支援１・２**のうち、身体介護が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問６　１回のサービス提供にかかる時間はどれくらいですか（移動時間を除く）。利用者の状態に応じてお書きください。

　　・事業対象者　　　　　分　　・要支援１　　　　　分　　・要支援２　　　　　分

市では、身体介護が不要な方に対して生活援助のみを提供する、訪問型サービスＡ（以下「訪問A」とします。）として、【生活支援事業】の移行を検討しています。

なお、訪問Aを実施した場合、【生活支援事業】はH３０年度で廃止とする予定です。

（表１：事業内容（案））

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | ケアマネジメントにより身体介護は不要だが生活援助が必要と判断された人 | | |
| 内容 | 調理、洗濯、掃除、買い物、薬の受取など | | |
| 報酬単価 | １６０単位（１，６００円）／１回あたりの単価設定 | | |
| サービス提供時間 | １回３０分以上  ６０分未満 | 利用回数 | 週１回（月４，５回）または週２回（月８～１０回、要支援１、２のみ） |
| ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | B（担当者会議省略可、柔軟にモニタリング時期を設定） | | |
| その他 | 人員基準等の緩和や「資格を持たない人材」の雇用によるサービス提供については検討中 | | |

事業内容を上記とした場合に、以下の問いにお答えください。

問７　貴事業所では、当市と【生活支援事業（ホームヘルパー派遣）】の業務委託契約をしていますか。

１　契約している　　２　契約していない

問８　表１：事業内容（案）では、報酬単価を現在の【生活支援事業】（１，６００円/回）と同額で設定しましたが、適切であると思いますか。

　　１　適切である　　　２　適切ではない

問９　問８で、（２　適切ではない）と回答した場合、いくらが適切だと考えますか。１回あたりの単価でお答えください。また、積算根拠や理由があればお書きください。

　　　　　　　　　円

設定した単価の積算根拠等をお書きください。

問１０　【生活支援事業】では、サービス提供時間は１回１時間で週２時間までとしておりましたが、訪問Aとした場合、サービス提供時間はどれくらいが適切と考えますか。

　　①１回あたり１，６００円とした場合　　　　　　　　分

　　②問８で貴事業所が設定した単価の場合　　　　　　　分

問１１　訪問Aを実施するにあたり、現行の基準の中で緩和や変更しても良いと思われるものをお選びください（あてはまるものすべてに〇）。また、具体案等ありましたらお書きください。

１　管理者の配置要件　　　２　訪問介護員等の員数

３　訪問介護員等の資格要件　　　４　サービス提供責任者の配置要件

５　サービス提供責任者の資格要件　　　６　設備基準　　　７　運営基準等

８　定員数の見直し　　９　提出書類の簡略化　　１０　利用者負担増

１１　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

１２　わからない　　　１３　必要なし

具体案等をお書きください

問１２　現時点で訪問Aの参入を希望しますか。※回答は、現在の方針で差し支えなく、この回答をもって決定とするものではございません。

　　１　希望する　　２　未定　　３　希望しない

問１３　問１２で（３ 希望しない）と回答した理由をお書きください。また、どの様な条件であれば参入が可能と考えますか。具体案等ありましたらお書きください。

理由・具体案等をお書きください

訪問Aについては、担い手不足の解消を図るため、一定の研修を受けた「資格を持たない者」を雇用して従事させる事も想定されておりますが、このことについて以下の質問にお答えください。

問１４　貴事業所の職員数は充足していますか。

　　１　概ね充足　　　２　ほぼ充足　　　３　やや不足　　　４　大変不足

問１５　一定の研修について、貴事業所で協力可能な点はありますか。

１ 事業所内または法人内で研修が可能である。

２ 事業所内での研修は難しいが、市が開催する研修に講師派遣は可能である。

３ 研修内容やテキスト作成の協力が可能である。

４ 協力は難しい

問１６　研修の開催等によって介護人材の確保につながると思われますか。

１ つながる

２ つながらない（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３ わからない

問１７　「訪問A」の実施や、実施に伴う「生活支援事業」の廃止について、事業所の立場から考えられる課題や留意事項、ご意見、ご質問がありましたらお書きください。

**Ⅳ　通所型サービスについて（通所介護事業所のみ回答）**

問１　貴事業所の１日の利用定員は何人ですか。　　　　定員　　　　　人

問２　１日の利用者数は平均何人くらいですか。　　　　１日　　　　　人

問３　現在、事業対象者、要支援１・２の利用者数はどれ位ですか。

　　・事業対象者　　　　　人　　・要支援１　　　　　人　　・要支援２　　　　　人

問４　**事業対象者**のうち、入浴、食事、排泄などの介助が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問５　**要支援１・２**のうち、入浴、食事、排泄などの介助が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問６　１回のサービス提供にかかる時間はどれくらいですか（移動時間を除く）

　　・事業対象者　　　　　分　　・要支援１　　　　　分　　・要支援２　　　　　分

市では、入浴、食事、排泄などに介助が不要な利用者に対して運動やレクリエーション等を提供する、通所型サービスＡ（以下「通所A」とします。）として、【生きがい対応型デイサービス事業（以下「生きデイ」とします。）】の移行を検討しています。

なお、通所Aを実施した場合、【生きデイ】はH３０年度で廃止とする予定です。

（表２：事業内容（案））

|  |  |
| --- | --- |
| 対象者 | ケアマネジメントにより①・②と判断された方  ①入浴・食事・排泄の介助は必要ないが、生活機能の低下があり、外出や交流の機会が必要な人  ②各地域の居場所や体操教室等に自力で参加出来ない人 |
| サービス内容 | ミニデイサービス、運動・レクリエーション等 |
| 提供時間 | １回２時間以上（移動時間を除く） |
| 報酬単価 | ３００単位（３，０００円）／１回あたりの単価設定とする |
| 利用回数 | 週１回（月４，５回）または週２回（月８～１０回、要支援２のみ） |
| ケアマネジメント | B（担当者会議省略可、柔軟にモニタリング時期を設定） |
| その他 | ・利用者が入浴や食事を希望する場合には、利用者負担により利用は可能です。  ・人員基準等の緩和については検討中です。 |

としております。このことについて、以下の問いにお答えください。

問７　貴事業所では、当市と【生きデイ】の業務委託契約をしていますか。

　　１　契約している　　２　契約していない

問８　問７で、（１　契約している）事業所において、【生きデイ】のサービス提供時間はどれくらいですか。

　　　　　　時間　　　　分

問９　表２：事業内容（案）では報酬単価を現在の【生きデイ】（市：１，５００円、利用者：１，５００円以内）を参考に設定しましたが、適切であると思いますか。

　　１　適切である　　　２　適切ではない

問１０　問９で、（２　適切ではない）と回答した場合、いくらが適切だと考えますか。１回あたりの単価でお答えください。また、積算根拠や理由があればお書きください。

　　　　　　　　　円

適切とする単価の積算根拠等があればお書きください。

問１１　【生きデイ】を通所Aとした場合、サービス提供時間はどれくらいが適切と考えますか。

　　　　時間　　　　分

問１２　通所Aでは入浴、食事の希望者は実費負担での利用を可能とする予定ですが、その場合に貴事業所で想定される料金設定はいくらですか。

　・入浴　　　　　　円　　　・食事　　　　　　円

問１３　通所Aを実施するにあたり、現行の基準の中で緩和や変更しても良いと思われるものをお選びください（あてはまるものすべてに〇）。また、具体案等ありましたらお書きください。

１　管理者の配置要件　　　２　生活相談員の配置義務・員数

３　看護職員の配置義務・員数　　　４　機能訓練指導員の配置義務・員数

５　介護職員の員数　　　６　食堂・機能訓練室の最低面積

７　相談室・静養室・事務室の設置義務　　　８　その他運営基準等

９　定員数の見直し　　　１０　書類の簡略化　　　１１　利用者負担の増

１２　入浴や送迎等の加算・減算

１３　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

１４　わからない　　　１５　必要なし

具体案等をお書きください

問１４　現時点で通所Aの参入を希望されますか。※回答は、現在の方針で差し支えなく、この回答をもって決定とするものではございません。

　　１　希望する　　２　未定　　３　希望しない

問１５　問１４で（３ 希望しない）と回答した理由をお書きください。また、どの様な条件であれば参入が可能と考えますか。具体案等ありましたらお書きください。

理由・具体案等をお書きください

問１６　「通所A」の実施や実施に伴う「生きデイ」の廃止について、事業所の立場から考えられる課題や留意事項、ご質問、ご質問がありましたらお書きください。

**Ⅴ　介護保険外サービスへの取組みについて**

厚生労働省では、介護保険と保険適用外の介護サービスを組み合わせる【混合介護】の対象を拡大する方針であり、これまで以上に保険外サービスの提供にあたっての環境整備が進むことが予想されております。

問１　介護保険外サービスについて、これまでに取り組んでいるものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

１　買い物支援　　２　家事代行　　３　見守り　　４　配食

５　宿泊サービス　　６　物品販売（商品内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　）

７　その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　 ）

８　なし

問２　介護保険外サービスについて、今後、取り組みを検討しているものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

１　買い物支援　　２ 家事代行　　３ 見守り　　４ 配食

５　宿泊サービス　　６　物品販売（商品内容：　　　　　　　　　　　　　　）

７　その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

８　なし

問３　今後、保険外サービスの提供する上で、どのような環境整備や支援が必要と考えますか？

**Ⅵ　ケアマネジメントについて（地域包括支援センター、居宅介護事業所のみ回答）**

問１　現在の利用者数についてお書きください

・事業対象者　　　　　人　　・要支援１　　　　　人　　・要支援２　　　　　人

問２　**事業対象者**のうち、介護予防訪問介護相当サービスの利用者で身体介護が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問３　**要支援１・２該当者**のうち、介護予防訪問介護相当サービスの利用者で身体介護が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問４　**事業対象者**のうち、介護予防通所介護相当サービスの利用者で入浴や排せつの介助が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

問５　**要支援１・２該当者**のうち、介護予防通所介護相当サービスの利用者で入浴や排せつの介助が必要な利用者はいますか。はいと答えた場合は、概ね何名程度かお書きください。

　　１　はい（　　　　　人）　　　２　いいえ

　市では多様な主体によるサービス等を創出するにあたり、サービス内容に応じたケアマネジメントとするため、ケアマネジメントB、Cの導入を検討しております。

　　①ケアマネジメントA（原則的なケアマネジメント）

　　　（基本４３０単位/月、初回加算３００単位）

　　②（案）ケアマネジメントB（担当者会議省略可、柔軟にモニタリング時期を設定可）

　　　（案：基本２１５単位/月、初回加算３００単位、担当者会議開催加算１１５単位、モニタリング加算１００単位）

　　③（案）ケアマネジメントC（初回のみ）

　　　（案：基本２００単位、初回加算３００単位）

①～③についてお伺いします。

問６　現行相当サービスの訪問介護・通所介護について適切と思うケアマネジメントはどれですか。（現在：ケアマネジメントA）

　　１　ケアマネジメントA　　２　ケアマネジメントB　　３　ケアマネジメントC

問７　通所Cについて適切だと思うケアマネジメントはどれですか。（現在：ケアマネジメントA→変更案：ケアマネジメントB）

　　１　ケアマネジメントA　　２　ケアマネジメントB　　３　ケアマネジメントC

　　４　マネジメント不要

問８　訪問A・通所Aについて適切だと思うケアマネジメントはどれですか。（案：ケアマネジメントB）※Ⅲ－表１、Ⅳ－表２を参考にしてください。

　　１　ケアマネジメントA　　２　ケアマネジメントB　　３　ケアマネジメントC

　　４　マネジメント不要

問９　訪問B・通所Bについて適切だと思うケアマネジメントはどれですか。（案：ケアマネジメントC）

　※訪問B・通所Bは、住民組織やNPO等が主体となる活動を予定

　　１　ケアマネジメントA　　２　ケアマネジメントB　　３　ケアマネジメントC

　　４　マネジメント不要

問１０　ケアマネジメントBの報酬単価（案）について、適切と思われる数字をお書きください。（１単位＝１０円）

基本報酬　　　　　単位

担当者会議開催加算　　　　　単位（開催月に基本報酬にプラス）

モニタリング加算　　　　　単位（開催月に基本報酬にプラス）

問１１　ケアマネジメントCの報酬単価（案）について、適切と思われる数字をお書きください。（１単位＝１０円）

基本報酬　　　　　単位

問１２　市では、高齢者健康トレーニング教室に通えない方や通所型サービスからのステップアップのための受皿として、公民館や集会所等で週１回、通年利用できる運動教室の開催を検討しています。

　貴事業所が所在する圏域内で、実施場所として効果的だと思う地区や建物などがありましたらお書きください。（いくつでも）

　総合事業におけるケアマネジメントでは、自立へ向けた合意形成として、利用者やその家族に対し、①自分でできることを増やしていくことが目標であること、②状態が良くなるにつれて、公的サービスの頻度は徐々に少なくなり、地域資源（インフォーマルサービス）の活用へシフトする事を予め知ってもらう事が重要です。

問１３　市が実施している一般介護予防事業（高齢者健康トレーニング教室、高齢者ふれあい居場所づくり事業）についてどの程度ご存知ですか。

　　１　内容もある程度知っている　　　２　名前だけは知っている

３　あまり知らない

問１４　普段のケアマネジメントにおいて、一般介護予防事業や地域資源を計画に加えたり、利用者へ情報提供するなど、積極的にインフォーマルサービスへつないでいますか。

　　１　概ね当てはまる　　２　やや当てはまる　　３　あまり当てはまらない

　　４　全く当てはまらない

問１５　積極的にインフォーマルサービスとの連携を図る上で、課題だと感じる点は何ですか。具体的な内容をお書きください。

問１６　問１５の課題を解決するために行政に期待することは何ですか。具体的な内容をお書きください。

問１７　「訪問A」及び「通所A」の実施や実施に伴う「生活支援事業」及び「生きデイ」の廃止について、何かご意見等はありませんか。

問１８　普段のケアマネジメントについて感じていること等をお書きください。

調査項目は以上です。ご回答ありがとうございました。